

第 122 回 (2023 年 6 月度) 監査技術ゼミ 結果報告

運営委員長 豊島 秀一
(文責：松下 洋二)

1. 開催日時 2023 年 6 月 14 日(水) 午後 2 時 00 分～午後 5 時 00 分
2. 開催方法・場所 会場 (文京シビックセンター3 階会議室②)・オンライン (ZOOM) 併用方式
講師は会場より解説
司会 (委員長) は会場で進行
委員は会場で会議サポート
3. テーマ 労働安全のリスクマネジメントと経営を監査する！
4. 講師 一般社団法人 品質と安全文化フォーラム 代表理事
博士 (学術) 中嶋 洋介氏
5. 出席者 46 名 (会場参加 11 名、オンライン参加 35 名)
6. 配布資料 (事前に委員長から参加申込者に対してメールでオンライン参加案内とともに添付ファイルで送付)
 - ・ 第 122 回監査技術ゼミ「労働安全のリスクマネジメントと経営を監査する～安全のリスクマネジメントが企業を強くする～」中嶋洋介 Ph. D.
 - ・ 「民事裁判例から見る転倒事故の施設類型別の特徴と施設管理者の責任」日本建築学会技術報告集第 26 巻第 64 号所収 2020 年 10 月
7. 議事次第
 - 1) 運営委員長より開会の挨拶
豊島運営委員長よりオンライン参加者の ZOOM 接続状況を確認したのち、開会挨拶と本日のテーマ紹介を行い、講師の中嶋洋介氏を紹介された。
なお出席者の内、旧独立委員会セミナーも含めて当委員会への初参加者は以下の通り
(株)JAL グランドサービス 監査役 満田 温 氏
北海道川崎建機(株) 監査役 斉藤 裕美氏
 - 2) 講義
午後 2 時 7 分より、講師が自己紹介を行った後、資料に沿って解説が行われ、3 時 4 分で前半を終了した。
休憩をはさみ、3 時 15 分から、再び資料に沿って解説が行われ、4 時 36 分に後半の講義を終了した。
 - 3) 質疑応答および意見交換等
講義終了後、ただちに出席会員会友と質疑応答ならびに意見交換が行われた。質疑応答および意見交換の要旨は以下の通り。
 - ・ 転倒事故の民事裁判例から、企業側 (施設管理者) の安全対策が適切だった事例を抽出できるのではないか
 - ・ 日本の安全思想では、事故原因の分析や再発防止対策が具体的でないのは何故か

4) 委員長より閉会の挨拶

質疑応答および意見交換の後、豊島運営委員長が講師に感謝の意を表され、参加者に対しアンケートへの協力要請（後日メールで発信）を行うとともに、次回の監査技術ゼミは2023年7月7日(金)に開催予定の旨案内した後、午後4時53分に閉会となった。

以上